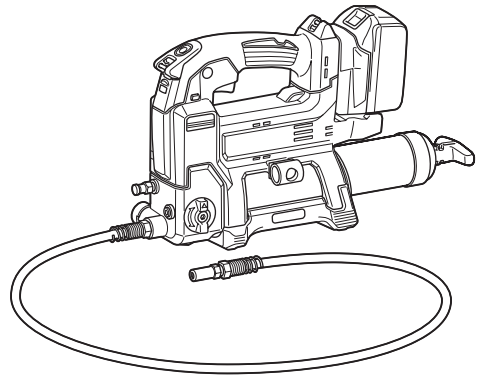


Makita

取扱説明書

充電式グリスガン

モデル GP180D



このたびは充電式グリスガンをお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。
ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をして
いただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださ
るようお願いいたします。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



目次

・ 主要機能	3
・ 安全上のご注意	4
・ 充電式グリスガン 安全上のご注意	12
・ 各部の名称	14
・ 標準付属品	15
・ 別販売品のご紹介	16
・ バッテリーについて	18
・ 充電器について	21
・ 付属品の取り付け・取りはずし方	30
・ ショルダーベルト	30
・ グリスの充填方法	31
・ バレル	31
・ カートリッジで充填する場合	31
・ バレルに直接充填する場合	33
・ ポンプで充填する場合	35
・ 操作方法	37
・ スイッチの操作	37
・ 吐出速度の切り替え	38
・ ライトの点灯	39
・ リリース弁、エアドレンバルブについて	40
・ 作業方法	41
・ グリスの注入	41
・ バレルの清掃	42
・ 保護機能	45
・ 本製品およびバッテリーの保護機能	45
・ 別販売品の使い方	46
・ アダプタの交換方法	46
・ ホースの交換方法	46
・ ロックオンアダプタの交換方法と使い方	47
・ アングルアダプタの取り付け方法	48
・ 故障かな？と思ったら	49
・ トラブルシューティング	49
・ 保守・点検について	51
・ 本製品のお手入れ	51
・ ご修理の際は	51

主要機能

主要機能	モデル	GP180D	
電動機		直流マグネットモータ	
バッテリー		リチウムイオンバッテリー	
		BL1860B (容量 6.0 Ah)	
電圧		直流 18 V	
バレル内径		φ 60 mm	
グリス容量		カートリッジ 420 ml、バルク 570 ml	
グリスちょう度		ちょう度番号 0-2 号 (NLGI No.0-No.2) *1	
最大吐出圧力		69 MPa	
吐出量 *2	低速モード		145 ml / min
	自動変速モード		290 ml / min
1 充電当たりの作業量	低速モード		8,000 ml
	自動変速モード		15,000 ml
本製品寸法 (バッテリー含む)		長さ 449 mm × 幅 114 mm × 高さ 245 mm	
質量 (バッテリー含む)		5.5 kg	

充電器		DC18RF	
入力電圧		単相交流 100 V	
入力周波数		50/60 Hz	
入力容量		330 W	
バッテリー充電端子	出力電圧	直流 14.4-18 V	
	出力電流	直流 12 A	
USB電源端子	出力電圧	直流 5.0 V	
	出力電流	直流 2.1 A	
	端子形状	USB A 型	

・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

*1：JIS K 2220

*2：常圧にて吐出した場合の参考値です。また、注油対象側の圧力などにより異なります。

バッテリーアダプタ類について




- ・ 本製品はバッテリーアダプタ類を使用できません。使用した場合、けがや事故の原因になります。

注

- ・ 予備のバッテリーを使用して連続作業をされる場合は、本製品を 15 分以上休止させてください。

- ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 「充電工具」は、充電式（バッテリーパック式）の電動工具を示します。

注意文の 警告 ・ 注意 ・ 注 の意味について


ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 ・  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

警告

：誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

注意

：誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお  注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注

：製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なお注意。

⚠ 警告

作業環境

1. 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
 - ・ 充電工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
 - ・ 注意力が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
 - ・ 作業者以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。
4. 十分な、防じん対策や飛散防止対策をしてください。
 - ・ 特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときは、注意してください。
5. アスベスト（石綿）周辺的环境下（除去作業含む）で使用しないでください。
 - ・ アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発症させる物質です。

電気に関する安全事項

1. 電源コンセントは充電器の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。アース（接地）付きプラグは確実にアース（接地）をしてください。
 - ・ 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアース（接地）されているものに身体を接触させないようにしてください。
 - ・ 感電する恐れがあります。
3. 充電工具、バッテリーおよび充電器は、雨ざらしにしたり、湿った、または濡れた場所で使用したり、充電したりしないでください。
 - ・ 充電工具や充電器内部に水が入り、感電やバッテリーが短絡（ショート）する恐れがあります。
 - ・ バッテリー内部に水が入り短絡（ショート）すると、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
4. 充電器の電源コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・ 電源コードを持って充電器を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
 - ・ 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体にからまって感電する恐れがあります。
5. 使用環境に適した延長コードを使用してください。
6. USB 端子付きの充電工具や充電器は、USB 端子間を短絡（ショート）させないでください。
 - ・ 釘、針金が USB 端子内に入ると、短絡（ショート）して発煙、発火の恐れがあります。

⚠ 警告

作業者に関する安全事項

1. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
 - ・ 充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - ・ 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる方や妊娠している方は、充電工具を使用しないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合は、夜間の使用や悪天候などで視界の悪いときは充電工具を使用しないでください。
 - ・ 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。
2. 安全保護具を使用してください。
 - ・ 作業時は、常に保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用してください。必要に応じて、すべり防止安全靴・ヘルメット、耳栓、イヤマフなどを着用してください。
3. 不意な始動は避けてください。
 - ・ バッテリーを本製品に差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
 - ・ スイッチに指をかけて運ばないでください。
4. 充電工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
 - ・ 電源を入れたときに、取り付けたキーやレンチなどが回転して負傷する恐れがあります。
 - ・ 本製品に収納場所がある場合は、決められた位置にしっかり固定してください。
5. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・ 本製品を無理に押しつせず、常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
6. きちんとした服装で作業してください。
 - ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
 - ・ 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋とすべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
 - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
7. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
 - ・ 充電工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続することで粉じんの人体への影響を軽減できます。
8. 使用直後は製品の端子部に触れないでください。熱くなっているためやけどの恐れがあります。

充電工具の使用および手入れ

1. 充電工具は能力に合った作業に使用してください。
 - ・ 安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った負荷で作業してください。
2. スイッチに異常がないか点検してください。
 - ・ スイッチで始動および停止操作のできない充電工具は危険です。使用せず修理をお申し付けください。

⚠ 警告

3. 充電工具の誤始動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、バッテリーを本製品から抜いてください。
 - ・ 本製品の調整
 - ・ 刃物、砥石、ビットなどの先端工具や付属品の交換
 - ・ 保管、または修理
 - ・ 充電工具から離れるとき
 - ・ 本製品の受け渡し
 - ・ その他危険が予想される作業
4. 使用しない充電工具、充電器およびバッテリーは、子供の手の届かない乾燥した鍵のかかる場所に保管してください。
 - ・ 充電工具や充電器からバッテリーを抜いて保管してください。
 - ・ 充電器は電源コンセントから電源プラグを抜いて保管してください。
 - ・ バッテリーはバッテリーカバーをつけて保管してください（バッテリーカバー付きの場合）。
5. 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての部位に異常がないか確認してください。
 - ・ 保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
 - ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
 - ・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・ 充電器の電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - ・ 充電器に使用する延長コードは、定期的に点検し、損傷している場合は交換してください。
 - ・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
6. 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。
 - ・ 先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。
7. 取扱説明書で指定した先端工具、付属品、アタッチメントなどを使用してください。
 - ・ 取扱説明書で指定のサイズ、形状、付属品などは、本製品の性能や安全を引出すよう、最適に設計されています。
8. 充電工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせてご使用ください。
 - ・ 指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。
9. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。

バッテリーに関する安全事項

1. バッテリーを差し込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。
 - ・ スwitchがオンの位置にあるときにバッテリーを差し込むと事故につながります。

⚠ 警告

2. バッテリーは専用充電器以外では充電しないでください。
 - ・ほかのバッテリー用の充電器を流用すると、火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
3. マキタが指定した専用バッテリー以外使わないでください。また、改造したバッテリー（分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。
 - ・工具本体の性能や安全性なども損なう恐れがあり、火災やけが、故障、破裂などの原因になります。
4. バッテリーの端子部を金属などで接触させないでください。
 - ・バッテリーを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。短絡（ショート）して発熱、発火、破裂の恐れがあります。
 - ・本製品または充電器からはずした後は、バッテリーにバッテリーカバーを必ず取り付けてください（バッテリーカバー付きの場合）。
5. 高温などの過酷な条件下ではバッテリーから液漏れすることがあります。漏れ出た液体に不用意に触れないでください。
 - ・万が一、バッテリーの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い医師の治療を受けてください。
 - ・バッテリーの液は炎症ややけどの原因になることがあります。
6. バッテリーはマキタ製品以外に取り付けて使用しないでください。
 - ・火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
7. バッテリーは、火への投入、加熱をしないでください。
 - ・発火、破裂の恐れがあります。
8. バッテリーに釘を刺す、切る、潰す、投げる、落とす、硬い物で叩くなど衝撃を与えないでください。
 - ・発熱、発火、破裂の恐れがあります。
9. 分解・改造をしないでください。
 - ・発熱、発火、破裂の恐れがあります。
10. バッテリーを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管しないでください。
 - ・バッテリーを周囲温度が 50℃以上上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。バッテリー劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
11. バッテリーを水のような導電体に浸さないでください。またバッテリーの内部に水のような導電体を侵入させないでください。
 - ・バッテリー内部に水のような導電体が侵入すると短絡（ショート）し、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
12. 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。
13. 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリーは使用しないでください。
 - ・損傷、または使用できなくなったバッテリーは回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。
14. 使用済みのバッテリーは一般家庭ゴミとして棄てないでください。
 - ・棄てられたバッテリーがゴミ収集車内などで破壊されて短絡（ショート）し、発火・発煙の原因になる恐れがあります。

⚠ 警告

15. バッテリーは、電力量が 100 Wh を超える場合、危険物に分類されます。
 - ・ 輸送の際は、輸送会社にお問い合わせの上、指示に従ってください。
 - ・ 電力量は、バッテリー裏側の注意ラベルに記載されています。
16. 使用中、使用後にバッテリーが熱くなることがあります。やけど、低温やけどの原因になるため注意してください。
17. バッテリーに切りくず、ほこり、土などがたまらないようにしてください。
 - ・ 異常発熱によりやけどをしたり、発火、破裂または、作動不良によりけがに至る恐れがあります。

整備

1. 充電工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。
 - ・ 本製品、充電器、バッテリーを分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
 - ・ 本製品が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
 - ・ 本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - ・ 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
 - ・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。
 - ・ アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業含む)で使用した本製品の保守・点検・修理は受付できません。

その他の安全事項

1. 損傷した部品がないか点検してください。
 - ・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
 - ・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - ・ 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。
<異常・故障例>
 - ・ 本製品やバッテリーが異常に熱い。
 - ・ 本製品やバッテリーに深いキズや変形がある。
 - ・ 焦げくさい臭いがする。
 - ・ ビリビリと電気を感じる。
 - ・ スイッチを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐにバッテリーを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。

⚠ 警告

2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
 - ・ この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。
3. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。
 - ・ 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で充電工具を使用できます（材料を動かして加工する製品を除く）。
4. ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。
 - ・ 爆発や火災の恐れがあります。
5. 火災の恐れがあります。次のようなことをしないでください。
 - ・ ダンボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
 - ・ 風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすいものを差し込まないでください。
 - ・ 綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。
6. 充電器のバッテリー装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけないでください。
 - ・ そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。
7. 充電器は充電以外の用途には使用しないでください。
8. 充電中、発熱などの異常に気が付いたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。
9. 正しく充電してください。
 - ・ 充電器は定格表示してある電源で使用してください。
 - ・ 昇圧器などのトランス類や直流電源では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
 - ・ ラベルに「発電機」の表示がある充電器はエンジン発電機（当社インバータ制御付エンジン発電機は除く）では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
 - ・ 周囲温度が 10℃未満、または周囲温度が 40℃以上ではバッテリーを充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
 - ・ バッテリーは、換気のよい場所で充電してください。充電中のバッテリーや充電器を布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
 - ・ 充電器の電源コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように場所で充電してください。発煙、発火、感電の恐れがあります。
 - ・ 充電器を使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

⚠ 警告

10. 充電器の電源プラグにぬれた手で触れないでください。
 - ・ 感電の恐れがあります。
11. 充電工具を高圧電線の近くで使用しないでください（高圧電線対応製品は除く）。
 - ・ 誤動作や故障する恐れがあります。
12. 充電器で使用する延長コードの太さ（導体公称断面積）と長さの目安
 - ・ 充電器の使用時に延長コードが必要な場合、充電器を最高の能率で支障なくご使用いただくために十分な太さの延長コードをできるだけ短くお使いください。

太さ（導体公称断面積）	長さの目安
2.0 mm ²	30 m

この取扱説明書は、大切に保管してください。

- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることが出来る所に必ず保管してください。
- ・ ほかにの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

● 騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

先に充電工具として共通の注意事項を述べましたが、充電式グリスガンとして、さらに次の注意事項を守ってください。

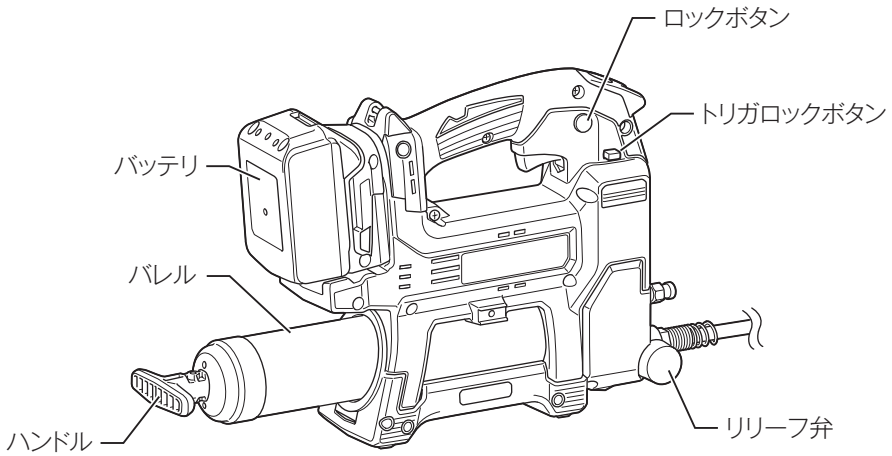
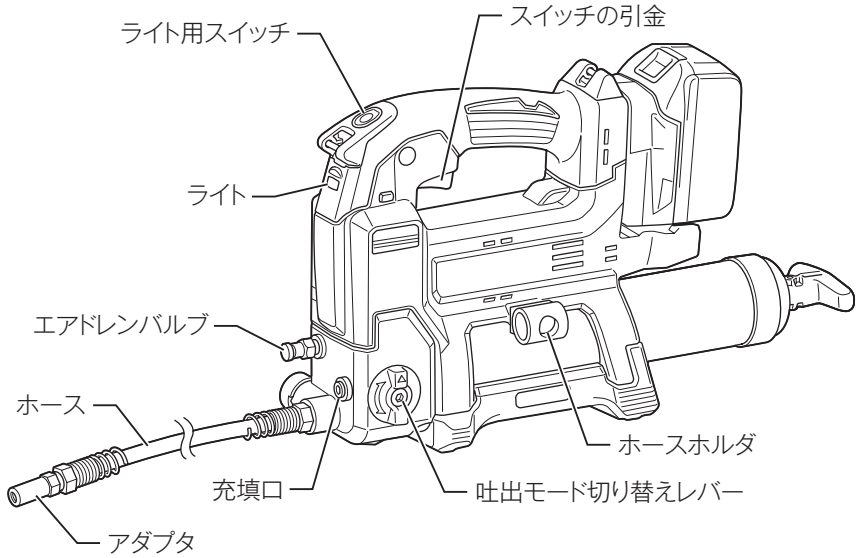
⚠ 警告

1. 使用中は、本製品を確実に保持してください。
 - ・ 確実に保持していないと、けがの原因になります。
2. 火気の近くで作業しないでください。
 - ・ グリスが発火する恐れがあります。
3. 指定したグリスちょう度以外のものは使用しないでください。
 - ・ 発煙する恐れがあります。
4. グリス以外は使用しないでください。
 - ・ 液体が勢いよく飛び出し、目に入る恐れがあります。
5. ホースやバレルを持って運ばないでください。
 - ・ 本体がはずれて身体に当たるなど、けがの原因になります。
6. エアドレンバルブを操作するときは、保護メガネを着用してください。
 - ・ 空気やグリスが勢いよく飛び出し、目に入る恐れがあります。
7. ホースが折れた状態で使用しないでください。
 - ・ 圧力でホースが破損してグリスが勢いよく飛び出し、目に入る恐れがあります。
8. バレルのハンドルを引いて固定するときは、確実にロックしてください。
 - ・ バレルとハンドルの間に指をはさむなど、けがの原因になります。
9. 指定した純正品のホース以外は使用しないでください。
 - ・ 圧力でホースが破損してグリスが勢いよく飛び出し、目に入る恐れがあります。
10. 誤って落としたり、ぶつけたときは、本製品や付属品などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
11. ショルダーベルトを使用するときは、肩からはずれたり、不安定にならないことを確認してください。
 - ・ けがや事故の原因になります。
12. グリスを取り扱う場合、次のようなことに注意してください。
 - ・ 食べないでください。(食べると下痢、嘔吐します)
 - ・ 目に入ると炎症を起こすことがあります。取り扱う場合は、保護メガネを使用するなど、目に入らないようにしてください。
 - ・ 皮膚に触れると炎症を起こすことがあります。取り扱う場合は、保護手袋を使用するなど皮膚に直接触れないようにしてください。
 - ・ 子供の手の届かないところに保管してください。
 - ・ 目に入った場合は、清浄な水で十分に洗浄し、医師の診断を受けてください。
 - ・ 皮膚に触れた場合は、水と石けんで十分に洗ってください。
 - ・ 飲み込んだ場合は、無理に吐かせずに直ちに医師の診断を受けてください。
 - ・ 廃グリス、廃容器（カートリッジ）の処理は、法令に従い適切に処理してください。
 - ・ カートリッジは、直射日光を避け暗所に保管してください。

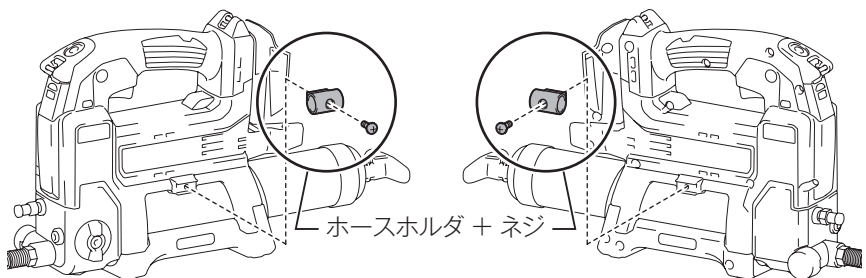
⚠ 注意

1. 付属品や別販売品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
 - ・ 確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2. 部品の交換時は、指定した工具を使用してください。
 - ・ 間違った工具を使用すると、けがの原因になります。
3. 作業時に、ホースの先端を閉じたりふさがないでください。
 - ・ 故障の原因になります。
4. 本製品を高圧で使用し続けたり、長時間連続運転し続けると故障やバッテリーの劣化につながる可能性があります。
 - ・ 本製品を長時間使用する場合は、作業時間 1 分間ごとに 3 分間休憩程度を目安にご使用ください。
5. 本製品を保管する場合は、ゴミやほこりが入らないように注意してください。
 - ・ 本製品にゴミやほこりが入ると本製品の故障やグリスアップを行う時にゴミが入り、相手部品の故障につながる恐れがあります。

各部の名称



※ホースホルダは、ネジをはずすことで左右の付け替えが可能です。



標準付属品

標準付属品 \ モデル	GP180DZ	GP180DRG
バッテリー (カバー付き)	×	BL1860B (容量 6.0 Ah)
充電器 (充電時間)	×	DC18RF (実用充電完了 *1: 約 27 分) (フル充電完了 *2: 約 40 分)
ショルダー ベルト	○	○
プラスチック ケース	×	○

*1 実用充電完了：フル充電完了の約 80 % の充電が完了した状態。

*2 フル充電完了：バッテリーの容量いっぱいまで充電された状態。

別販売品のご紹介

- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所へお問い合わせください。

- ・ アダプタセット品 (3 個入り)

部品番号：A-71152

標準付属アダプタの交換部品です。

(46 ページの「アダプタの交換方法」参照)。

- ・ ホース

名称	長さ	部品番号
フレキシブルホース 600 セット品	600 mm	A-71174
フレキシブルホース 1200 セット品	1,200 mm	A-71168

(46 ページの「ホースの交換方法」参照)。

- ・ ロックオンアダプタセット品

部品番号：A-71130

供給先の注入口を確実に固定します。

(47 ページの「ロックオンアダプタの交換方法と使い方」参照)。

- ・ アングルアダプタセット品

部品番号：A-71146

供給先の注入口が直角の位置などに使用します。

(48 ページの「アングルアダプタの取り付け方法」参照)。

- ・ バレルアッセンブリ B セット品

部品番号：A-74893

- ・ 延長パイプセット品

部品番号：A-75138

別販売品のご紹介

- ・ バッテリ

名称	容量 (Ah)	部品番号
BL1815N	1.5	A-60311
BL1820B	2.0	A-61715
BL1830B	3.0	A-60442
BL1860B	6.0	A-60464

バッテリーについて

バッテリーについて

- ・ お買い上げ時は、バッテリーは十分に充電されていないため、バッテリー保護機能が働いている場合があります。（スイッチを操作すると本製品は動く恐れがありますので注意してください。） ご使用前に急速充電器で正しく充電してからご使用ください。
- ・ 使用しないときはバッテリーカバーをかぶせてください。バッテリーを水やほこりから保護するのに役立ちます。
- ・ 使用しないときは本製品からバッテリーを抜いて保管してください。

バッテリーを長持ちさせるには

- ・ 工具の力が弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
- ・ 満充電したバッテリーを再度充電しないでください。
- ・ 充電は周囲温度 10℃～40℃の範囲で行ってください。
- ・ 使用直後などの熱くなったバッテリーは、充電器に差し込んで冷却し充電することをおすすめします。
- ・ 長期間（6ヶ月以上）ご使用にならない場合、リチウムイオンバッテリーは充電してから保管することをおすすめします。

バッテリーの回収について

- ・ 使用済みバッテリーはリサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。



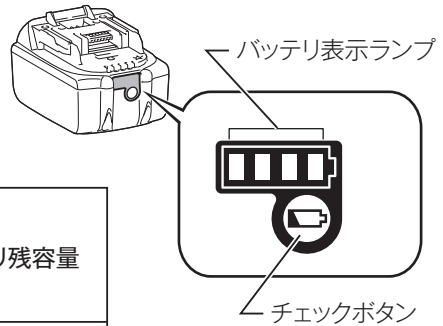
Li-ion

リチウムイオンバッテリーは
リサイクルへ

バッテリーについて

バッテリー残容量表示機能

モデル名の末尾に「B」の付くバッテリーは、残容量表示機能が付いています。
・ チェックボタンを押すとバッテリー表示ランプが残容量を数秒間表示します。



バッテリー表示ランプ	バッテリー残容量
■ :点灯 ▨ :点滅 □ :消灯	
■ ■ ■ ■	75 % - 100 %
■ ■ ■ □	50 % - 75 %
■ ■ □ □	25 % - 50 %
■ □ □ □	0 % - 25 %
▨ □ □ □	充電してください。
■ ■ □ □ □ □ ■ ■ ↓ ↑	バッテリーの異常です。

注

- ・ 表示される残容量は、ご利用状況や気温などによって実際の残容量と異なる場合があります。
- ・ バッテリー保護機能が働いた際は、左端の表示灯が点滅します。

バッテリーについて

バッテリーの取り付け・取りはずし方

⚠ 警告

本製品にバッテリーを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

- ・ スイッチを入れたままバッテリーを差し込むと、事故の原因になります。

バッテリーは確実に差し込んでください。ボタン上部の赤色部分が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部分が見えなくなるまでしっかり差し込んでください。

- ・ 差し込みが不十分ですと、はずれて事故の原因になります。

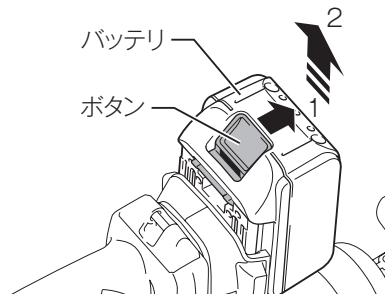
取り付け方

- ・ バッテリーを本製品の溝に合わせ、赤色部分が見えなくなるまで差し込みます。



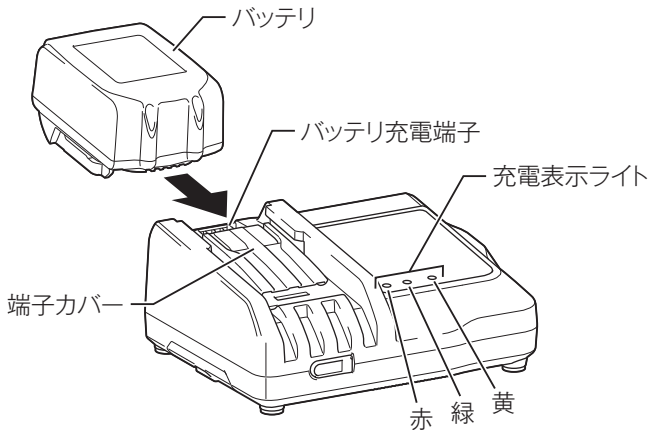
取りはずし方

- ・ バッテリーのボタンを
 1. 矢印方向に押しながら
 2. 引き出します。



充電器について

バッテリーの充電方法

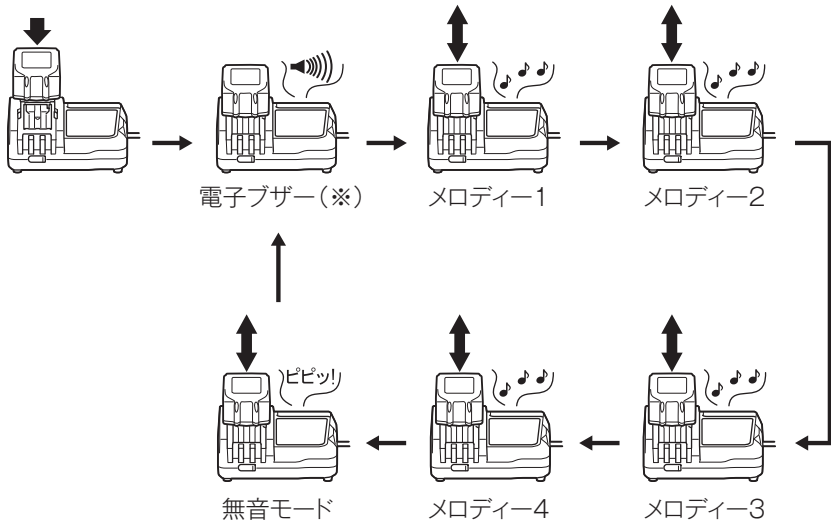


1. 充電器の電源プラグを 100 V の電源コンセントに差し込みます。
 - ・ 充電表示ライトは「緑」の点滅を繰り返します。
2. バッテリーを充電器の挿入ガイドにそって、一番奥まで入れます。
 - ・ 充電器の端子カバーはバッテリー挿入に伴い開閉します。
3. バッテリーを挿入しますと充電表示ライトが「赤」に点灯し、現在設定されている充電完了メロディーの確認音が短時間鳴り、充電を開始します。
4. 充電が完了すると「緑」の点灯に変わり、充電完了メロディーや電子ブザー音が鳴ります。
 - ・ 充電時間は周囲温度（10℃～40℃）やバッテリーの状態（新品・長期保存バッテリーや寿命に近いバッテリーなど）により変動します。
 - ・ 充電完了後すぐに使用しない場合は、バッテリーの冷却を行いますので、そのまま差し込んでおくことをおすすめします。冷却時間は約30分です。
5. バッテリーを抜き取り、電源コンセントから充電器の電源プラグを抜きます。

充電器について

充電完了メロディーの切り替え方法

1. バッテリーを充電器に差し込むと、現在設定されている充電完了メロディーの確認音が短時間鳴ります。
2. このとき、素早くバッテリーを差し直すと充電完了メロディーの確認音が変わります。
3. 続けて素早くバッテリーを差し直すたびに充電完了メロディーの確認音が順に変わります。
4. 設定したい充電完了メロディーの確認音が鳴りましたら、バッテリーを挿入したままにすることで充電を開始します。
「ピピッ!」と鳴るモードを選んだときは充電完了時に音が鳴りません（無音モード）。
5. 充電が完了すると充電表示ライトが「緑」の点灯に変わり、バッテリー挿入時に設定した充電完了メロディーや電子ブザー音が鳴ります。無音モードを選択した場合には完了時に音はしません。
6. 設定した充電完了メロディーは充電器の電源プラグを抜いても記憶されています。

















(※) 出荷時は電子ブザーに設定されています。

充電器について




充電表示ライトについて

充電表示ライトの内容は以下のようになっています。







(通常充電のライト表示および表示内容)

ライト表示	点滅 点灯	表示内容
  		充電前 「緑 1 個」点滅 電源に差し込んだ状態です。
  		冷却中 「赤 1 個」点滅 バッテリーが高温です。冷却後、自動的に充電開始 します。
  		充電中 「赤 1 個」点灯 バッテリー容量約0~80 %を示します。
  		実用充電完了 「赤 1 個・緑 1 個」点灯 バッテリー容量約80~100 %を示します。
  		フル充電完了 「緑 1 個」点灯 電子ブザーまたはメロディー

(オートメンテナンス時のライト表示および表示内容)

  		オートメンテナンス 「黄」点灯 バッテリー寿命低下防止のため充電時間が長く なります。
---	--	---

(異常時のライト表示および表示内容)

  		充電不可 「赤・緑 1 個」交互点滅 電子ブザー バッテリー寿命またはゴミつまりで充電できません。
  		冷却システム異常 「黄」点滅 冷却ファン故障または冷却不足です。

充電器について

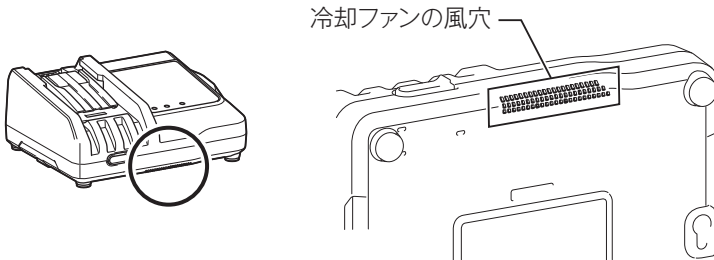
注

- DC18RF はマキタバッテリー専用の急速充電器です。他の目的に使用しないでください。
- 使用直後のバッテリーや直射日光の当たる所に長時間放置したバッテリーを充電されますと充電表示ライトが「赤」の点滅を繰り返す場合があります。このようなときは、充電器内蔵の冷却ファンによりバッテリーを冷却してから充電を開始します。
- 充電開始後、充電表示ライトが「赤・緑」の交互点滅を繰り返し、電子ブザーが「ピッピッピッ」と約 20 秒間鳴った場合は、バッテリーの寿命またはゴミづまりで充電できません。
- 次のような状態のときは、充電器またはバッテリーに故障があると考えられますので、充電器とバッテリーの両方を、お買い上げの販売店、または当社営業所へお持ちください。
 - × 充電器のプラグを 100 V の電源に差し込んでも、表示ライトが「緑」に点滅しない。
 - × バッテリーを挿入しても、表示ライトが「赤」に点灯または点滅しない。
- バッテリーを使用しないときは、バッテリーカバーをかぶせてください。バッテリーを水やほこりから保護するのに役立ちます。

充電器について

冷却システムについて

- ・ バッテリーの性能を十分に発揮させるため、充電器内蔵の冷却ファンによりバッテリーを効率良く冷却するシステムです。送風の音がしますが故障ではありません。
- ・ 冷却ファンが故障したり、充電器やバッテリーのゴミづまりによって冷却不足となった場合、「黄」のライトが点滅し冷却システム異常をお知らせします。冷却システム異常の場合も充電を行います。充電時間が長くなる場合があります。このようなときは、充電器、バッテリーの風穴がふさがれていないか、または送風の音がしないか、ご確認ください。
- ・ 充電器の前面下部にある「冷却ファンの風穴」がゴミでふさがれていないか定期的に確認、清掃をしてください。



- ・ 充電中、送風の音がしない場合がありますが、「黄」のライトが点滅していなければ故障ではありません。冷却ファンを停止して充電することができます。
- ・ 充電器、バッテリーの風穴をふさがないでください。
- ・ 頻繁に「黄」のライトが点滅するようなときは、点検・修理をお申し付けください。

オートメンテナンス機能について

- ・ オートメンテナンス機能は、バッテリーの使用状態に応じて自動的にバッテリーを長持ちさせるように最適な充電を行うことを特徴としています。
- ・ 下記 1 ~ 4 の状態となった場合、特にバッテリー寿命が低下しやすい状況にあるため、充電中に「黄」のライトが点灯して充電時間が長くなる場合があります。
 - 1 高温充電の繰り返し
 - 2 低温充電の繰り返し
 - 3 満充電バッテリーの再充電の繰り返し
 - 4 過放電の繰り返し
(過放電とは工具の力が弱くなってもさらに使用する状態です。)

充電器について

USB 電源端子への接続

⚠ 警告

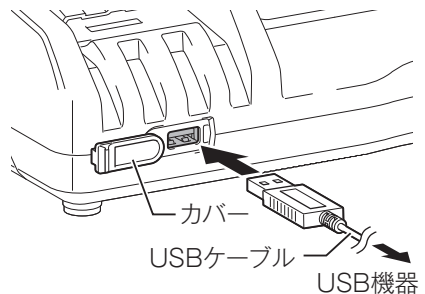
USB 電源部の端子間を短絡（ショート）させないでください。

- ・ 釘、針金が USB 電源端子部に入ると、短絡（ショート）して発煙、発火の恐れがあります。

DC18RF は、様々な USB 機器の外部電源としても使用することができます。次の注意事項をよくお読みの上、正しくお使いください。

注

- ・ 万一の場合に備えて、ご使用になる USB 機器の内部データを必ず事前にバックアップしてください。接続した USB 機器の内部データが（予測できない問題により）破損・消失する可能性があります。
 - ・ USB 機器の種類によっては、動作しない、または充電できない機種があります。
 - ・ 2.1 A を超える出力電流を必要とする USB 機器は、充電器に接続しないでください。USB 電源端子の最大出力電流は、2.1 A です。
 - ・ 充電器との接続には、USB 機器付属の USB ケーブルをご使用ください。
 - ・ 使用後は充電器正面のカバーを戻してください。カバーが開いていると充電器内部に水滴やほこりが侵入し充電器の故障につながります。
1. 本体正面のカバーをはずして、USB ケーブルで USB 機器と充電器を接続してください。
 2. 充電器の電源プラグを電源コンセントに差し込んでください。
 3. 使用後は、USB 機器、USB ケーブルを取りはずし、カバーを戻してください。
 4. 電源コンセントから充電器の電源プラグを抜いてください。



充電器について

壁に取り付けて使用する場合

⚠ 注意

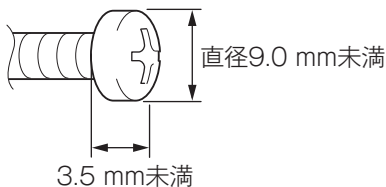
- ・ 壁に取り付けて使用する場合は、必ず吊下げ用ネジ 2 本で確実に吊下げてください。
- ・ 充電器を吊下げた後は、固定用ネジなどにより充電器を固定してください。固定が不十分な場合、充電器からバッテリーを抜き取る際に充電器が落下する恐れがあります。
- ・ 取り付け作業を行うときは、バッテリーを抜き取り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- ・ 取り付け作業を途中で中断すると落下などの恐れがあります。取り付け手順を守り、最後まで確実に取り付け作業を行ってください。
- ・ 定期的にネジのゆるみがないか確認してください。
- ・ ネジのゆるみがあると充電器が落下する恐れがあります。
- ・ 定期的に充電器の端子部を掃除してください。
- ・ 端子部の掃除を行うときは、エアダスターなどでていねいに行ってください。
- ・ 充電器本体、バッテリーの総重量は、約 1.6 kg になります。取り付け場所の耐荷重が不足する場合は、十分な補強を行ってください。

壁面への充電器の取り付けは、次の手順で行ってください。

1. 事前準備

用意するもの（別途準備してください）

- ・ 木ネジ（吊下げ用）4 mm × 20 mm 以上：2 本
※ネジ頭は下図の寸法としてください。

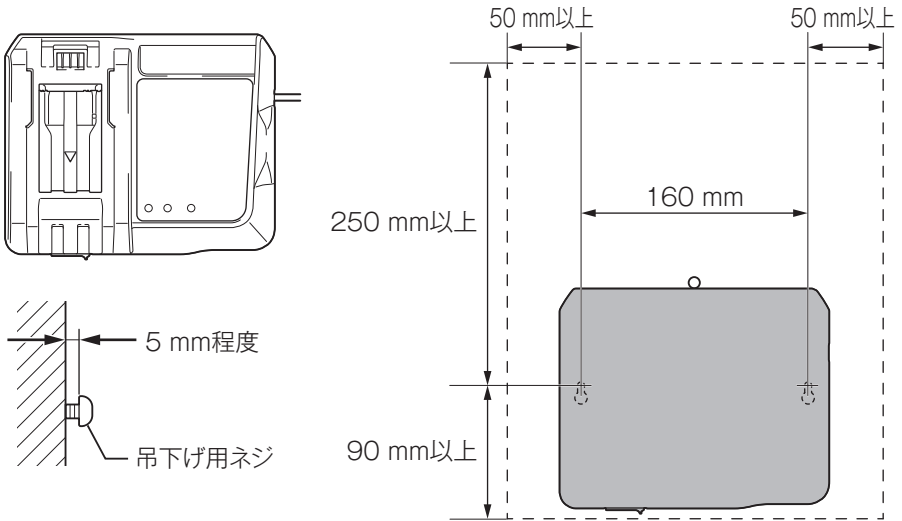


- ・ 木ネジ（固定用ネジ 1）4 mm × 25 mm 以上：1 本
- ・ 工具（ネジ締め用）

充電器について

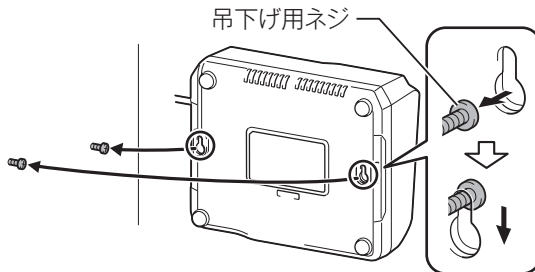
2. 吊下げ用ネジの取り付け

周りに充電器の取り付け作業や、バッテリーの充電作業の障害になる出っ張りなどが無い、強度のある壁面に取り付けてください。



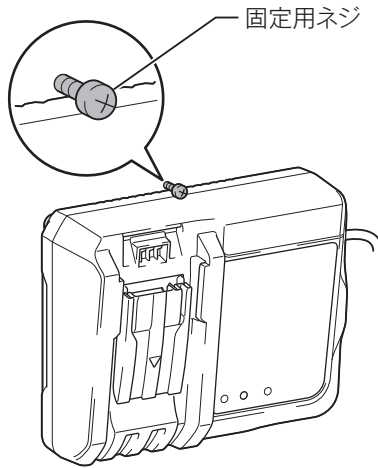
3. 充電器の取り付け

手順 2 で取り付けした吊下げ用ネジに充電器を引っかけてください。



充電器について

4. 充電器の固定
固定用ネジを図のように締め込んでください。



充電器の点検・修理・保管について

- ・ いつも安全に能率よくお使いいただくために定期点検をおすすめします。
修理・点検はお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- ・ 充電器の保管場所として次のような場所は避けてください。
 - × お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる所
 - × 温度や湿度の急変する所
 - × 湿気の多い所
 - × 直射日光の当たる所
 - × 揮発性物質の置いてある所

付属品の取り付け・取りはずし方

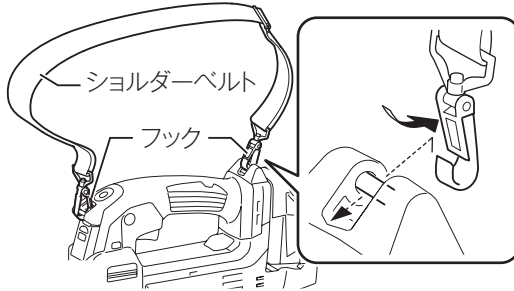
ショルダーベルト

取り付け方

- ・ ショルダーベルトのフック（2 か所）を本体に取り付けます。

取りはずし方

- ・ 取り付け方の逆の要領ではずします。



注

- ・ 取り付け後は、作業に適した長さに調整してください。
- ・ 付属のショルダーベルト以外は使用しないでください。
- ・ ショルダーベルト取付部は他の用途では使用しないでください。
 - ・ 取付部に過度な負荷がかかると取付部が破損し、作業者および周囲または下にいる人がけがをする恐れがあります。
- ・ ショルダーベルトを使用し運搬する際は、グリップを保持しながら運搬してください。

グリスの充填方法

⚠ 警告

付属品の取り付け、取りはずしの際は必ずスイッチを切り、バッテリーを抜いてください。

- ・ バッテリーを差したまま行くと事故の原因になります。

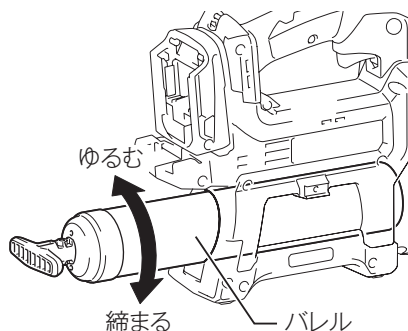
バレル

取りはずし方

- ・ バレルを回してゆるめ、本体から引き抜きます。

取り付け方

- ・ バレルを本体に差し込み、締め付けて固定します。



⚠ 警告

グリスの充填の際は必ずスイッチを切り、バッテリーを抜いてください。

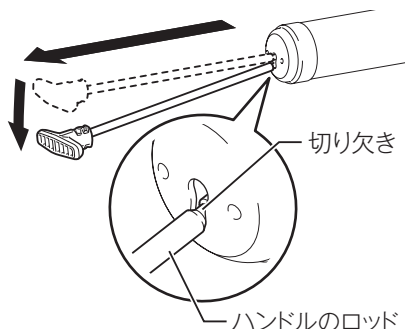
- ・ バッテリーを差したまま行くと事故の原因になります。

火気の近くでグリスを充填しないでください。

- ・ グリスが発火する恐れがあります。

カートリッジで充填する場合

1. エアドレンバルブをゆるめてください。
2. ハンドルをいっぱいまで引き、ロッドをバレルの切り欠きにはめ込んでロックします。
3. バレルを本体からはずします (31 ページの「バレル」参照)。

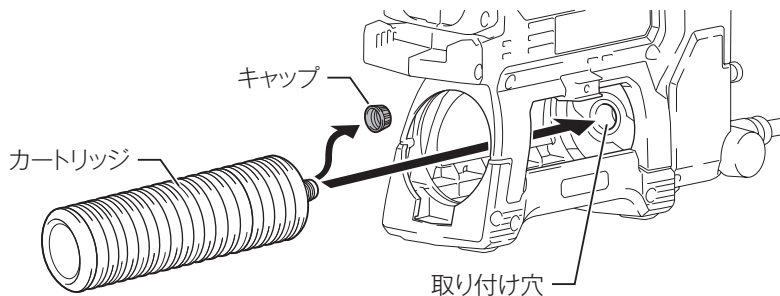


注

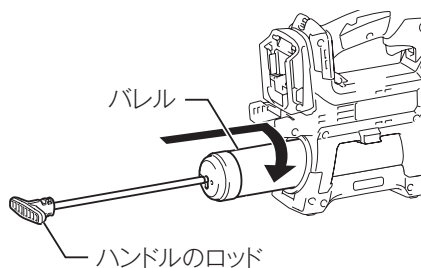
- ・ ハンドルのロッドが確実にロックしていることを確認してください。

グリスの充填方法

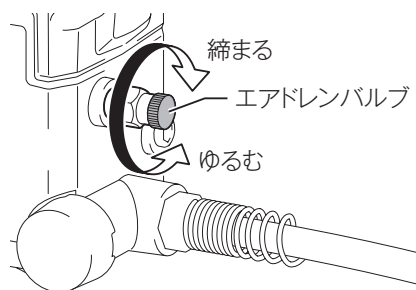
4. カートリッジのキャップをはずし、本体の取り付け穴にねじ込みます。



5. バレルを本体に取り付けます (31 ページの「バレル」参照)。
6. ロッドのロックを解除します。



7. エアドレンバルブをゆるめてエア抜きをします。
エア抜き後はエアドレンバルブを締め付けてください。



注

- カートリッジ取り付け穴周辺および本製品内には、出荷検査用グリスが残っています。

グリスの充填方法

注

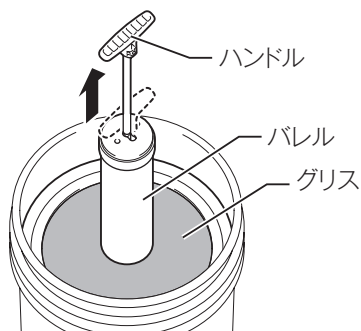
- エア抜きの際は、保護メガネを着用してください。
 - 空気が抜けた後にグリスが排出されますので、柔らかい布で拭き取ってください。
 - カートリッジ取り付けのときは、グリスに砂やゴミなどが付着しないように注意してください。また、カートリッジの底を軽く押して、グリスを先端から数 mm 出してからねじ込むとエア抜きが容易です。
8. バッテリを取り付けます (20 ページの「バッテリーの取り付け・取りはずし方」参照)。

注

- スイッチを操作してもグリスが注入されない場合、エアドレンバルブをゆるめてエア抜きをしてください (エア抜き方法は手順 7 参照)。

バレルに直接充填する場合

1. エアドレンバルブをゆるめてください。
2. ハンドルをいっぱいまで引き、ロッドをバレルの切り欠きにはめ込んでロックします。
3. バレルを本体からはずします (31 ページの「バレル」参照)。
 - ロッドのロックを解除し、ハンドルをゆっくり戻してください。
4. バレルの先端をグリスの中にまっすぐ入れます。
5. ハンドルをゆっくりと引き上げながら、グリスを充填します。

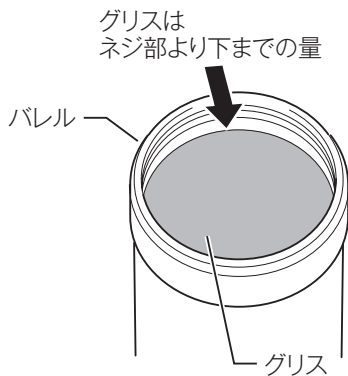
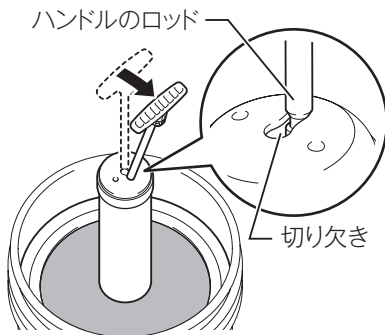


グリスの充填方法

6. ハンドルのロッドをいっぱいまで引き、ロッドをバレルの切り欠きにはめ込んでロックします。

注

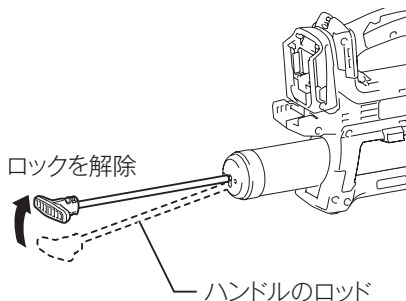
- ハンドルのロッドが確実にロックしていることを確認してください。
- ロックがはずれたり、途中で手をはなすとグリスがバレルから飛散します。
- バレルに付着した余分なグリスは拭き取ってください。
- グリスをバレルいっぱいに入れると本体取り付け時にあふれますので、バレルのネジ部より下までの量にしてください。



7. バレルを本体に取り付けます（31 ページの「バレル」参照）。

注

- バレルを取り付けた後は、エアドレンバルブを締めてください。
8. ロッドのロックを解除します。

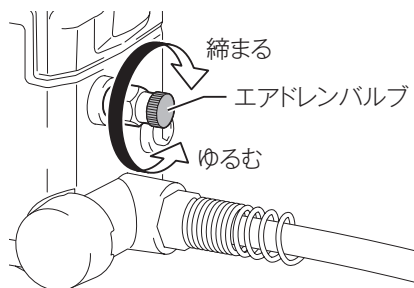


グリスの充填方法

9. エアドレンバルブをゆるめてエア抜きをします。
エア抜き後はエアドレンバルブを締め付けてください。

注

- エア抜きの際は、保護メガネを着用してください。
- 空気が抜けた後にグリスが排出されますので、柔らかい布で拭き取ってください。



10. バッテリーを取り付けます (20 ページの「バッテリーの取り付け・取りはずし方」参照)。

注

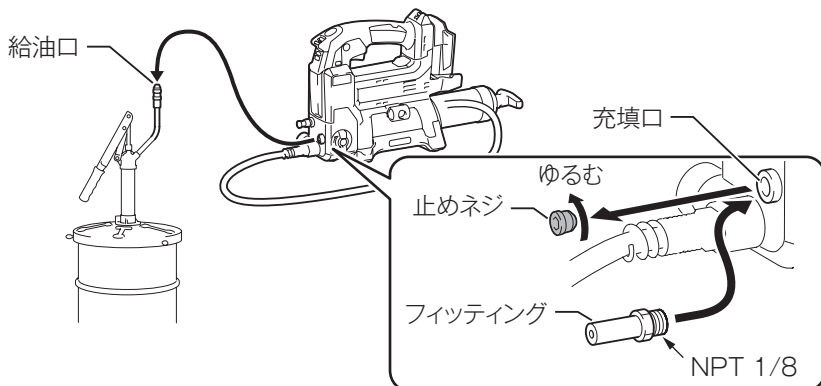
- スイッチを操作してもグリスが注入されない場合、エアドレンバルブをゆるめてエア抜きをしてください (エア抜き方法は手順9 参照)。

ポンプで充填する場合

1. バレルを本体からはずします (31 ページの「バレル」参照)。
2. 充填口の止めネジを取りはずし、ポンプの給油口に接続可能なフィッティングを取り付けます。

注

- フィッティングは、市販品をお求めください。
- フィッティングネジ部にシールテープを巻いてください。

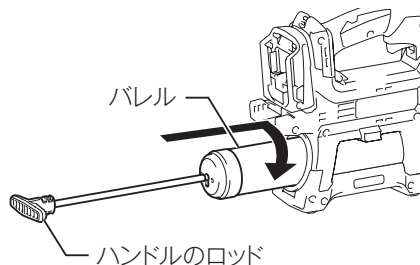


グリスの充填方法

3. バレルを本体に取り付けます。

注

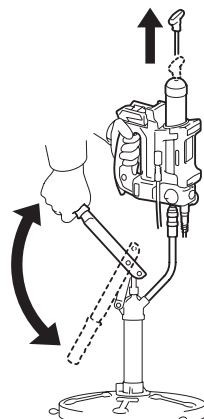
- ロッドのロックは解除しておきます。



4. エアドレンバルブが締まっていることを確認し、ポンプの給油口にフィッティングを接続します。
5. ポンプを操作して、バレル内にグリスを充填します。

注

- グリス充填時にハンドルが動きます。
- 充填時は本製品をしっかり保持してください。
- ロッドのロック位置以上に充填しないでください。



6. 充填後は、ポンプの給油口からはずします。
7. エアドレンバルブより、グリス注入時に残った空気を外に逃がします。エア抜き後は、エアドレンバルブを締めつけてください。
8. バッテリーを取り付けます (20 ページの「バッテリーの取り付け・取りはずし方」参照)。

注

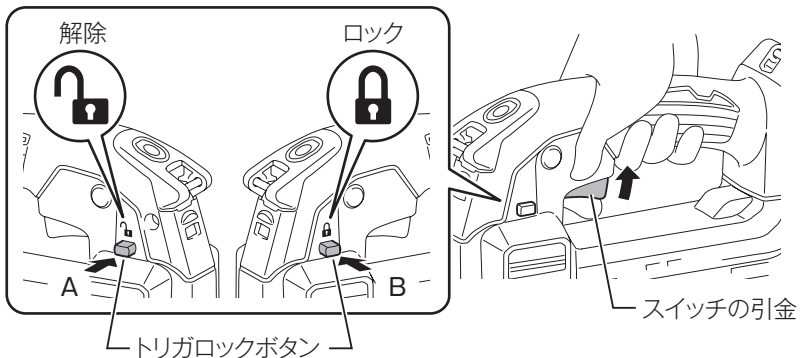
- スイッチを操作してもグリスが注入されない場合、エアドレンバルブをゆるめてエア抜きをしてください (エア抜き方法は手順7参照)。

操作方法

スイッチの操作

通常運転

- ・ トリガロックボタン A 側から押した状態にすると、スイッチの引金を引くことができます。
- ・ トリガロックボタン B 側から押した状態にすると、スイッチの引金が引けなくなります。
- ・ スイッチの引金の引き加減により、吐出量を調整することができます。



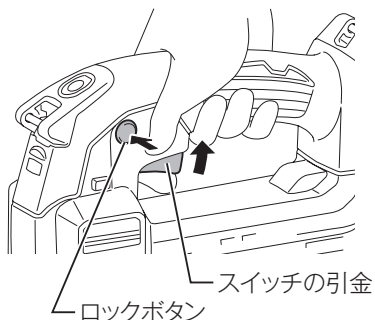
注

- ・ 使用後は、トリガロックボタンを B 側から押してロックしてください。
- ・ スイッチの引金をいっぱいに引いていない状態で圧力が高まると保護機能が働き、モーターが自動停止することがあります。高い圧力で注入する場合は、スイッチの引金をいっぱいに引いてください。

操作方法

連続運転

- ・ スイッチの引金をいっぱい引いてからロックボタンを押し込むと、引金を放しても連続運転します。
- ・ 停止させるには、もう一度引金を引いてロックボタンが戻ってから引金を放します。
- ・ ロックボタンは、左右どちらの方向からでも押すことができます。



注

- ・ 6分以上連続運転すると、本製品は停止します。
- ・ ロックボタンは、トリガロックボタンのように誤作動を防ぐためのものではありません。ロックボタンを使用のまま、電源投入をすると同時に自動的に給脂してしまい思わぬ事故が発生するおそれがあります。

吐出速度の切り替え

- ・ 作業用途によって吐出速度を切り替えることができます。



操作方法

ライトの点灯

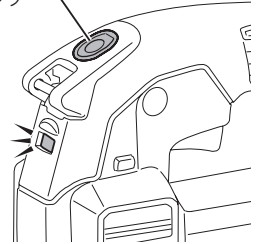
⚠ 警告

ライトの光を直接のぞき込んだり、目に当てたりしないでください。

- ・ ライトの光が連続して目に当たると目をいためる原因になります。

- ・ ライト用スイッチを押すと点灯し、再び押すと消灯します。
- ・ 点灯後、操作しない、もしくはモータ停止後 1 分間経過すると自動的に消灯します。

ライト用スイッチ



注

- ・ ライトレンズ部に付着したゴミは、柔らかい布などで拭き取り、キズが付かないように注意してください。ライトレンズ部にキズが付くと、照度低下の原因になります。
- ・ ライトレンズ掃除の際はガソリン、シンナーなどで拭かないでください。レンズをいためます。
- ・ 本製品が熱くなり過ぎるとライトが点滅します。本製品を冷ましてご使用ください。

操作方法

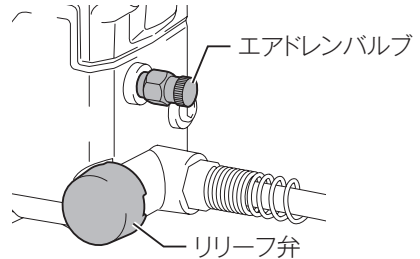
⚠ 警告

エアドレンバルブを操作するときは、保護メガネを着用してください。

- ・ 空気やグリスが勢いよく飛び出し、目に入る恐れがあります。

リリース弁、エアドレンバルブについて

- ・ 本製品には不要な内圧を逃がす機構があり、グリスや空気が漏れ出すことがあります。状態などは下表をご覧ください。



名称	解説
リリース弁	本製品の内圧が高まると、自動的にリリース弁よりグリスを排出して減圧します。 ⇒リリース弁は出荷時に調整してありますので、絶対にはずしたり、調整したりしないでください。 リリース弁には、排出グリスの飛散防止カバーが付いておりますので、取りはずさないでください。 (取りはずして使用しますとグリスが飛散し、目に入る恐れがあります)。
エアドレンバルブ	グリス充填時やグリス注入時に残った空気を外に逃がします。 ・ 31 ページの「カートリッジで充填する場合」参照 ・ 33 ページの「バレルに直接充填する場合」参照

作業方法

⚠ 警告

火気の近くで作業しないでください。

- ・ グリスが発火する恐れがあります。

ホースが折れた状態で使用しないでください。

- ・ 圧力でホースが破損してグリスが勢いよく飛び出し、目に入る恐れがあります。

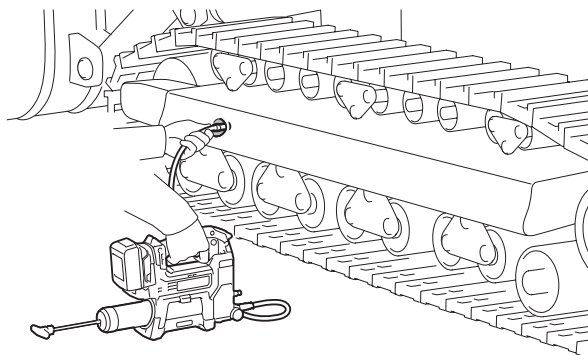
グリスの注入

1. ホース先端のアダプタを重機などのグリス注入口に接続します。

注

- ・ アダプタ、注入口ともに汚れを拭き取ってから接続してください。
- ・ アダプタがグリス注入口に接続できない場合は、無理やり取り付けることはせず、グリス注入口の種類をご確認ください。

作業例



2. スイッチを操作してグリスを注入します（37 ページの「スイッチの操作」参照）。

注

- ・ スイッチを操作してもグリスが注入されない場合や、注入途中で注入されなくなった場合、バレル内に空気が残っている可能性があります。エアドレンバルブをゆるめてエア抜きをしてください。

作業方法

3. グリスの注入完了後、アダプタを注入口からはずします。

注

- 高圧で注入する際、リリース弁付近からグリスが漏れ出すことがあります。これは製品保護のためであり故障ではありません。この場合、それ以上の注入はできません。
- 異なる種類のグリスを使用するときは、接続する前に本製品内に残っているグリスを新しいグリスで押し出してください。
- ホース先端のアダプタ、重機のグリス注入口から出たグリスはきれいに拭き取ってください。
- アダプタをはずす時は、アダプタを傾け、内圧を抜いてからはずしてください。

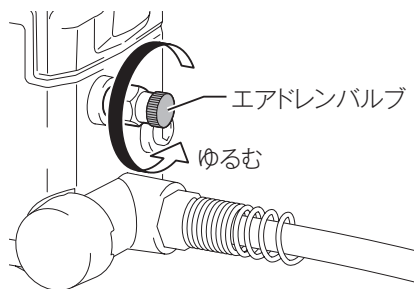
⚠ 警告

バレルの清掃の際は、必ずスイッチを切り、バッテリーを抜いてください。

- バッテリーを差したまま行くと事故の原因になります。

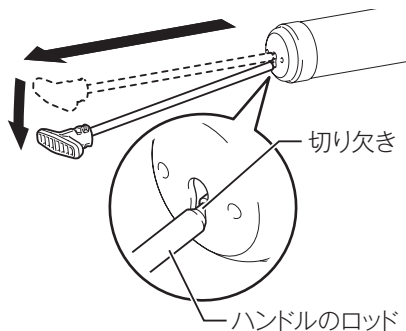
バレルの清掃

- 作業後、バレル内にグリスが残っている場合は、下記手順で除去してください。
1. エアドレンバルブをゆるめます。

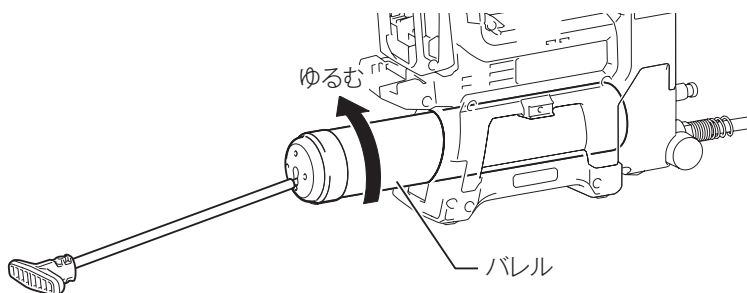


作業方法

2. ハンドルをいっぱいまで引き、ロッドをバレルの切り欠きにはめ込んでロックします。

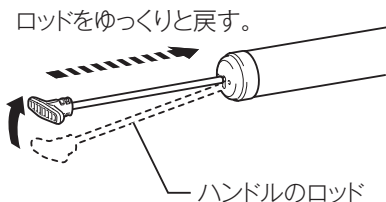


3. バレルを回してゆるめ、本体から引き抜きます。



注

- バレルをはずす際も、ハンドルのロッドが確実にロックしていることを確認してください。
4. ロッドのロックを解除して、ロッドを戻します。



注

- ハンドルのロッドは、必ずゆっくりと戻してください。

作業方法

5. バレル先端に押し出されたグリスを拭き取ります。

注

- ・ 使用後はバレルの内側、外側ともにきれいな状態を保ってください。

保護機能

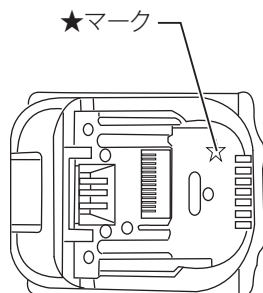
本製品およびバッテリーの保護機能

本製品を使用中、下記状態になりますとモーターが自動停止しますが、これは保護機能によるものであり故障ではありません。

保護機能
<ul style="list-style-type: none">本製品およびバッテリーの温度が高温になるとモーターが自動停止します。<ul style="list-style-type: none">使用を中断して本製品よりバッテリーを取りはずし、冷却ファンつきの充電器で充電および冷却をしてください。バッテリーを冷ましても本製品が動作しない場合は、本製品を冷ましてください。
<ul style="list-style-type: none">バッテリーの容量が少なくなるとモーターが自動停止します。<ul style="list-style-type: none">本製品よりバッテリーを取りはずし、バッテリーを充電してください。
<ul style="list-style-type: none">本製品が過負荷状態になるとモーターが自動停止します。<ul style="list-style-type: none">いったんスイッチを放し、本製品よりバッテリーを取りはずした後、過負荷の原因を取り除いてください。原因を取り除けば再びご使用になれます。
<ul style="list-style-type: none">保護機能が働きやすくなることがあります。<ul style="list-style-type: none">使用環境の温度やグリスの種類や状態により、保護機能の作動タイミングが異なります。

★マークについて

図のようにバッテリーに★マークがあるバッテリーは保護機能を搭載しています。



別販売品の使い方

⚠ 警告

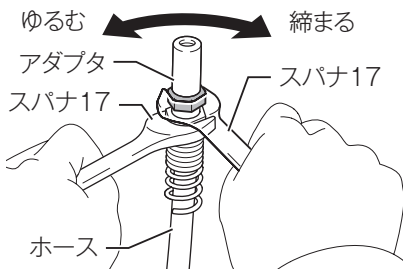
別販売品の取り付け、取りはずしの際は必ずスイッチを切り、バッテリーを抜いてください。

- ・ バッテリーを差したまま行くと事故の原因になります。

アダプタの交換方法

取りはずし方

- ・ ホース側のナットをスパナ 17 で固定して、アダプタ側のナットにスパナ 17 をかけて、アダプタをゆるめて取りはずします。



取り付け方

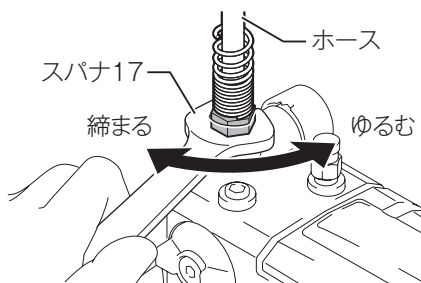
- ・ ホースのネジ部にシールテープを巻いてください。
- ・ 取りはずしと逆の要領で、新しいアダプタを取り付けます。

注

- ・ アダプタが取りはずしにくい場合には、ホースナット側のスパナ 17 を壁などで固定してはずしてください。
- ・ 注入時に漏れが多くなりましたらアダプタを交換してください。

ホースの交換方法

- ・ 本製品側ホースのナットをスパナ 17 ではずします。



注

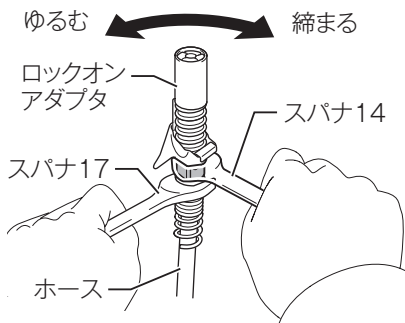
- ・ 本製品に古い O リングが残っている場合は、必ず取りはずしてください。

別販売品の使い方

ロックオンアダプタの交換方法と使い方

取り付け方

- ・ アダプタをスパナ 17 を使用しては
ずしてください (46 ページの「ア
ダプタの交換方法」参照)。
- ・ ホースのネジ部にシールテープを巻
いてください。
- ・ ホース側のナットをスパナ 17 で固
定して、ロックオンアダプタ側
のナットをスパナ 14 を使用して、取
り付けます。



取りはずし方

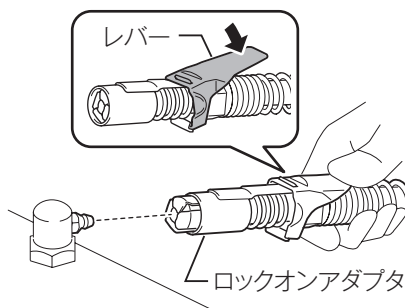
- ・ 取り付け方と逆の要領でロックオン
アダプタを取りはずします。

注

- ・ ロックオンアダプタの取り付け、取りはずしの際は、指の挟みこみに注
意してください。

使い方

1. レバーを引いてロック解除します。
2. 先端の接続部を供給先の注入口に接
続します。
3. レバーを戻します。



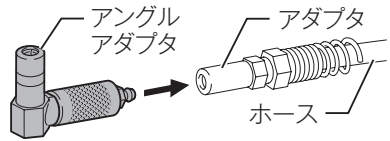
注

- ・ 高圧で注入する際、リリース弁付近
からグリスが漏れ出すことがありま
す。
これは製品保護のためであり、故障
ではありません。この場合、それ以上の注入はできません。
- ・ 高圧のまま取りはずすとグリスが飛び散ることがありますので、保護メ
ガネを着用してください。

別販売品の使い方

アングルアダプタの取り付け方法

- ・ アングルアダプタのグリスニップルをアダプタに押し込みます。



注

- ・ 重機の関節部や摺動部などの古いグリスを交換する作業などの比較的低い圧力でのグリス注入にご使用ください。

故障かな？と思ったら

トラブルシューティング

不具合内容	原因	対策
グリスが出ない	バレル内に空気が残っている。	エアドレンバルブをゆるめてエア抜きをする。
	グリスカートリッジの取付がゆるんでいる。	グリスカートリッジを締め込む。
	エアドレンバルブがゆるんでいる。	エアドレンバルブを閉める。
	グリスのちょう度が高い（硬い）。	ちょう度 0-2 のグリスを使用する。
	気温またはグリス保存温度が低くグリスが硬い。	グリスを温めて使用する。
	グリスが無い。	グリスを補給する。
バレルのハンドルが引けない	エアドレンバルブが閉まっている。	エアドレンバルブをゆるめる。
アダプタからグリスが漏れる	重機などのグリス注入口（ニップル）が摩耗、傷、ゴミがついている。	グリス注入口（ニップル）を掃除または交換する。
	アダプタの摩耗。	アダプタを交換する。 46 ページの「アダプタの交換方法」参照。
エア抜きの際にエアドレンバルブからグリスが出ない	エアドレンバルブのゆるめが足りない。	エアドレンバルブをさらにゆるめる。 エアは抜けている可能性があるため、バッテリーを取り付けてトリガーを引き、グリスを吐出してみる。

- ・ 上記の対策をお試しになっても解決しない場合は、故障が考えられます。お買い上げの販売店、または当社営業所まで修理をお申し付けください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、下記項目を点検してください。

症状

- 本製品が停止する
- 始動しない

原因

保護機能※が働き、本製品またはバッテリーが機能停止している可能性があります。

解消方法

スイッチを切って、再度入れてください。

↓ 解消しない

バッテリーを充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。

↓ 解消しない

本製品を十分に冷ましてください。

↓ 解消しない

お買い上げの販売店、または当社営業所まで修理をお申し付けください。

※保護機能については 45 ページ参照。

- ・修理をお申し付けの際は、製品、バッテリー、充電器を一緒にお持ちください。

保守・点検について

⚠ 警告

- 保守・点検の際は、必ずスイッチを切りバッテリーを抜いてください。
- ・ バッテリーを差したまま行くと事故の原因になります。

本製品のお手入れ

- ・ 乾いた布か薄めた中性洗剤を付けた布できれいに拭いてください。

注

- ・ 水洗いは絶対にしないでください。
 - ・ 本製品内部に水が入り、故障の原因になります。
- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

881E18D8
IWT

株式会社マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711 (代表)